

年末年始

昨年末に医局日誌にサプリメントが出て、風評被害で困っているのですが、教授最後の年末年始のことを書かせていただきます。

年末の最終日

2017年12月には、いつも通り最終日に年末のお寿司を医局でいただきました。28日が木曜日で回診と言うことで、年間通して回診に私と同じくらい出席いただいた、国際医療福祉大学・三田病院神経内科の後藤順先生も一緒でした。従って、このときの集合写真には後藤先生が写っています。さらに、再生医療講座の特任教授である菱田先生も一緒です。例年の通り、ケーキを注文してくれたのですが、写真に見られるように、私がいつも発表スライドで用いている通称“よしくん”のデザインが入ったケーキでした。この“よしくん”は、今は整形外科医として働いている次女が子供の頃に書いた父親で、いつもしかめ面をしていたようです。後藤先生一年間ありがとうございました。また、素敵なケーキを安田先生、高野さんありがとうございました。



年始の医局新年会

今年も例年通り、1月6日の土曜日に医局新年会をホテルで行いました。ここでも、一つやってしまいました。開始時間を勘違いしていて、集合30分前位にメールでリマインドがありました。野田町の自宅にいた私は、正式の会でもないし、時間的余裕がないので、そのとき着ていた服に上着を着て出かけました。自分としては、ユニクロの最新のライドダウンでできたチョッキなので良いだろうと思っていたのです。それで出かけたところ、何人かの人に、どうしてそんな格好できたのですか、他に何かなかったのかですかと聞かれました。さらに、途中からきた家内が、榎本博之君にどうしてあんな格好で来させたのかと聞いたと

言うことを、榎本君から聞きました。ここはいつもの通り、榎本先生が話をもっているのですが、真実はわかりませんが。家内は、あとからあの格好はひどいと言っていたことは確かですが。自分は全く気がつかず、最後の写真撮影になった時に、古林君がおかしいとおもったのでしょう、ネクタイを貸してくれました。そのおかげで、集合写真ではかろうじてネクタイをした姿で写っています。後から客観的に見ると、確におかしいですね。まさに、肌の王様現象でした。今年も無事終わるといいのですが。



今年も残り 11 ヶ月になりましたが、なんとか無事過ごせることを祈るばかりです。